

日野市プラスチック・スマート宣言

～より持続可能な社会を実現するために。諸力融合でプラスチックごみゼロを～

その利便性から、私たちの日常生活に広く普及し、今や私たちの生活にプラスチックは欠かせないものとなっています。

一方で、使い捨てのプラスチックは安易なポイ捨てなどにより適正に処理されず、河川などを通じて毎年800万トンもの「海洋プラスチックごみ」が海に流れ込み、長期にわたり海洋を漂っています。

これらは、海の景観を損ねるだけでなく、細分化されマイクロプラスチックとして海の生き物や生態系を傷つけ、巡り巡って私たち人間の体内にも取り込まれています。

将来的には、海洋プラスチックごみが魚の重量を上回るなど、地球規模での環境汚染が懸念されており、私たちの社会・生活にも多大な影響を及ぼすおそれがあります。

そこで、このような事態を防ぐため、2019年のG20大阪サミットでは2050年までに海洋プラスチックによる汚染をゼロにするという目標が掲げられました。

時を同じくする2019年、日野市はプラスチックごみの削減に積極的・先導的な取り組みを進める事を計画に示し、「SDGs未来都市」に選定されました。2020年1月からはプラスチックごみ及びプラスチック製品ごみの分別収集を開始し、ごみの削減及び再資源化を促進することにより、「使い捨て社会」から「循環型社会」へと転換を図っています（第2次ごみ改革）。

事業所から個人までプラスチックごみの課題を共有し、それぞれが適正な処分削減に取り組むことはSDGsの達成に大きく寄与するものです。

このような認識の下、日野市では、自ら率先して以下の取組を行い、次の世代に「持続可能なまち」を引き継ぐとともに、国際社会に貢献してまいります。

この目標を達成するには、行政だけでなく、市民や事業者等との連携が欠かせません。「諸力融合」により、誰一人取り残されない持続可能な社会を実現することをここに宣言します。

令和2年（2020年）12月11日

日野市長 大坪 冬彦

<取組内容> ～5R運動（refuse・reduce・reuse・recycle・return）の推進～

① 使い捨てプラスチックの削減及び再資源化

- ・日常生活でペットボトルなどの使い捨てプラスチックの使用を控えます。
- ・日常生活でマイボトル、マイバッグ、マイストローの利用を促進します。
- ・市の会議やイベントにおけるプラスチック製品の配布を原則として禁止し、代替品を活用します。

②機運の醸成、意識の変革、行動変容のための啓発活動

- ・市民、事業所等への協力を呼びかけます。
- ・使い捨てプラスチックを使用しない事業所等を支援します。